

国・地域名

メキシコ

| | | |
|---|---|--|
| <p>人口・経済発展状況等</p> <p>〔参考：日本〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口：1億2,645万3千人（2018年11月確定値、総務省統計局） ●実質GDP成長率：0.8%（2018年度、内閣府） ●1人あたりGDP（名目）：3万9,306ドル（2018年、IMF） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口 1億2,519 万人 ・ 実質GDP成長率 2.0 % ・ 1人あたりのGDP（名目） 9,807 ドル ・ 在留邦人 1万1,211 人 ・ 訪日外客数 6.8 万人 ・ 日本食レストラン数 500 店 | <ul style="list-style-type: none"> 2018年、メキシコ国家人口評議会（CONAPO） 2018年（通年値）、国立統計地理情報院（INEGI） 2018年（推計値）、国際通貨基金（IMF） 外務省「海外在留邦人数調査統計」平成30年要約版 2018年、日本政府観光局（JNTO） 現地関係者推計 |
| <p>日本からの農林水産物輸出状況 (2018年/財務省貿易統計よりジェトロ算出)</p> | <p>37位 13億円 うち農産物10億円(77.3%)、林産物0.2億円(1.2%)、水産物2.7億円(21.4%) 牛肉、緑茶、魚油（肝油除く）、アルコール飲料（日本酒等）、練り製品（魚肉ソーセージ等）</p> | |
| <p>味覚、嗜好上の特徴</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ メキシコ人の嗜好については、一般的にいうと保守的である。自分の好きな料理がある程度決まっており、同じものを好む傾向がある。色彩的には、センスが良く、派手ではっきりした ・ 味覚としては、メキシコ人は酸っぱくて辛い味を好む傾向がある。濃い目の味が好きで、ぼんやりとした味は好まない。また、エビを好んで食べる。 | |
| <p>制度的制約</p> | <p><動物検疫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メキシコ政府当局の認定を受けた、牛肉の輸出施設を管轄する地方自治体および動物検疫所において、輸出に必要な衛生証明書を発行している。岩手県、群馬県、宮崎県、鹿児島県下の認定施設（8カ所）にかぎり、メキシコへの輸入が解禁されている。 ・ 乳製品の輸出は日墨間で衛生条件が定められていないため、輸出できない。 <p><植物防疫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うんしゅうみかんは輸出禁止。果物、野菜はメキシコの検疫条件が未設定のため、輸出できない。緑茶（製茶）は植物検疫証明書なしで輸出可。 ・ 精米の輸出は日墨間で衛生条件が設定されていないため、輸出できない。 | |
| <p>商流・物流・商習慣</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の食品の多くは、まず在米商社などに向けて輸出された後、在米商社からメキシコの輸入業者に対して再輸出されている。 ・ 高所得者向けの鮮魚、日本酒等は日本から空輸される。 | |
| <p>日本食普及状況等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本でメキシコ料理といえばタコスに代表されるのと同様に、メキシコにおいて日本食といえば巻き寿司である。日本食の認知度は所得水準によって異なるが、中～高所得者層には鉄板焼きや刺身も知られている。 ・ 2018年より和牛が大手スーパーで販売が開始され、富裕層を中心に受け入れられつつある。 | |